

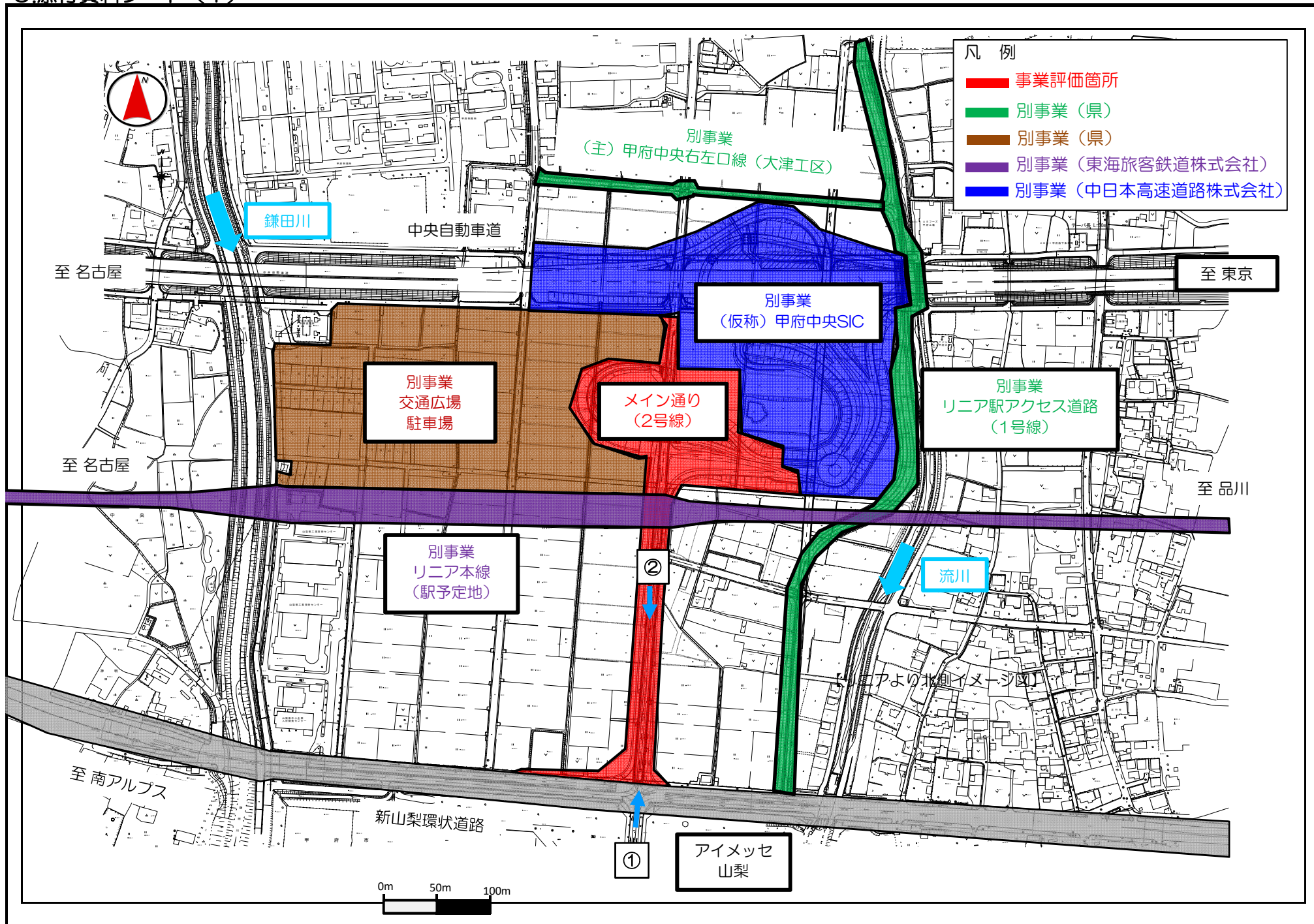
1. 事業説明シート

事業名	道路事業 [県道橋りょう改築事業(国補)]	事業箇所	甲府市大津町	地区名	(主) 甲府中央右左口線 (メイン通り2号線)	事業主体	山梨県												
(1) 事業の概要				(3) 中・長期計画等の位置付け															
<p>①課題・背景 主要地方道甲府中央右左口線は、現在、新山梨環状道路へのアクセス道路として利用されているが、通勤時間帯には酷い渋滞が発生している。令和9年開業予定のリニア中央新幹線や(仮称)甲府中央スマートインターチェンジの供用により、さらなる交通需要が見込まれており、これら拠点機能へのアクセス向上のため、早急に整備が必要である。</p> <p>②整備目標・効果 □主要目標 ○生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上 ・混雑時走行速度：27km/h(実測値) < 30km/h以下※ ・自動車交通量：3,778台/12h(実測値) > 3,428台/12h(平日)以上※ ※評価基準値 □副次目標 ○歩行者等の安全性の確保 ・歩行者・自転車交通量：35人台/12h(実測値) < 93人台/h(平日)以上※ ・自動車交通量：3,778台/12h(実測値) > 3,428台/12h(平日)以上※ ・小中学校からの距離：0.9km < 概ね1km ・現況の歩道幅員：歩道なし < 1.4m未満※ ※評価基準値 □副次効果 ○重要プロジェクトとしての位置づけ(リニアやまなしビジョン)</p> <p>③目標達成の方法 ・甲府市大津町における約500mの道路整備 道路幅員 7.5m(2車線・歩道なし) → 28.25m(4車線・両側歩道)</p>				<p>(4) 事業位置図等</p>															
(2) 整備内容																			
<p>①整備内容 道路改良L=500m W=17.25(28.25)m</p> <p>②着手年度 令和6年度 ③完成見込年度 令和9年度</p> <p>④総事業費 約3080百万円(国費1694百万円(5.5/10)県費1386百万円(4.5/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table border="1"> <tr> <td>令和6年度</td> <td>測量設計・用地取得</td> <td>400 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>用地取得・道路工事</td> <td>650 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>道路工事</td> <td>1100 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>道路工事</td> <td>930 百万円</td> </tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> リニア中央新幹線整備(JR東海) (仮称)甲府中央スマートインターチェンジ(中日本高速道路株式会社) リニア駅アクセス道路 L=860m W=5.5(14.0)m(山梨県) 令和2年度~令和6年度・約700百万円 				令和6年度	測量設計・用地取得	400 百万円	令和7年度	用地取得・道路工事	650 百万円	令和8年度	道路工事	1100 百万円	令和9年度	道路工事	930 百万円				
令和6年度	測量設計・用地取得	400 百万円																	
令和7年度	用地取得・道路工事	650 百万円																	
令和8年度	道路工事	1100 百万円																	
令和9年度	道路工事	930 百万円																	

2. 評価シート

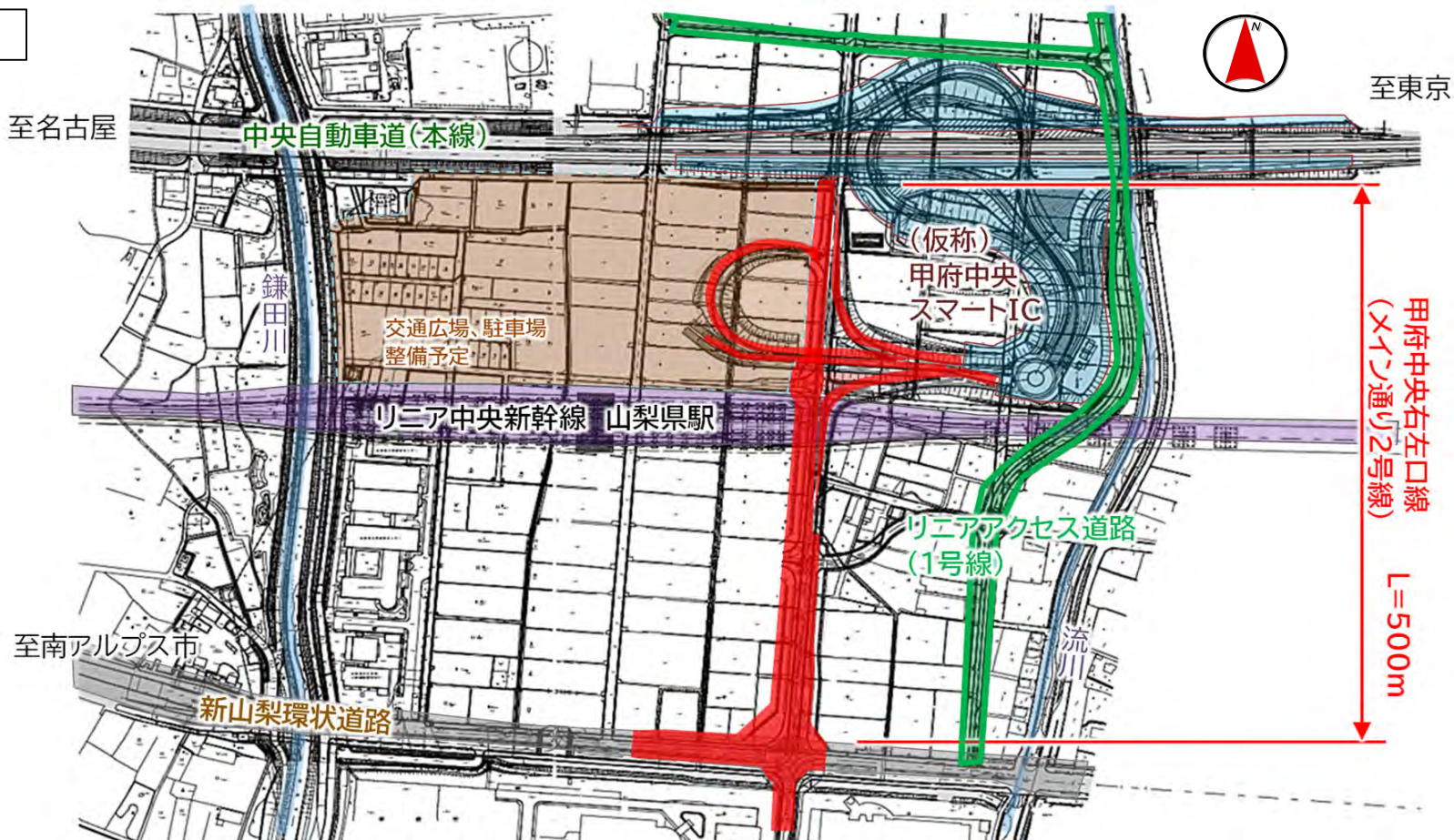
<p>(1) 公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) < 妥当 ・ 妥当でない ></p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本路線は、(仮称) 甲府中央スマートインターチェンジと新山梨環状道路を連絡するとともに、リニア中央新幹線山梨県駅周辺地区のメイン通りとなることから、公共性が極めて高い。 	<p>(5) 整備手法の有効性 < 妥当 ・ 妥当でない ></p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現道を活用することにより周辺への影響を小さくするとともに、経済性に優れた計画とした。 																																													
<p>(2) 事業執行主体の妥当性 (県が行うべき事業か) < 妥当 ・ 妥当でない ></p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 県道の改築であり、道路法第15条により、県が行うべき事業である。 	<p>□他の整備手法の有無 < 有 ・ 無 ></p> <p>(状況)</p>																																													
<p>(3) 経済効率性 < 妥当 ・ 妥当でない ></p> <p>(理由)</p> <table border="1" data-bbox="174 518 1173 778"> <tr> <td>総事業費</td> <td>3080</td> <td>百万円</td> <td>工期</td> <td>R6 ~ R9</td> <td>基準年</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>1,790</td> <td>百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">7,912 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>1,744</td> <td>百万円</td> <td>走行時間短縮</td> <td>6,848</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>46</td> <td>百万円</td> <td>走行経費減少</td> <td>947</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>交通事故減少</td> <td>88</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td>29</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">B/C</td> <td colspan="5">4.4</td> </tr> </table> <p>※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益 ※スマートICへのランプについては、スマートIC事業にて経済効率性の算定を行っている。 費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。</p>	総事業費	3080	百万円	工期	R6 ~ R9	基準年	R5	経済効率性	費用	1,790	百万円	便益	7,912 百万円		建設費	1,744	百万円	走行時間短縮	6,848	百万円	維持管理費	46	百万円	走行経費減少	947	百万円				交通事故減少	88	百万円				その他※	29	百万円	B/C		4.4					<p>(6) 環境負荷等への配慮 < 妥当 ・ 妥当でない ></p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> リニア中央新幹線山梨県駅周辺と調和のとれるよう景観に配慮した計画とした。
総事業費	3080	百万円	工期	R6 ~ R9	基準年	R5																																								
経済効率性	費用	1,790	百万円	便益	7,912 百万円																																									
	建設費	1,744	百万円	走行時間短縮	6,848	百万円																																								
	維持管理費	46	百万円	走行経費減少	947	百万円																																								
				交通事故減少	88	百万円																																								
				その他※	29	百万円																																								
B/C		4.4																																												
<p>(4) 事業実施・規模の妥当性 < 妥当 ・ 妥当でない ></p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> (仮称) 甲府中央スマートインターチェンジと新山梨環状道路を連絡する道路として必要な事業規模である。 <p>□同等施設等 (計画を含む) の有無 < 有 ・ 無 ></p> <p>(状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> なし <p>□必要整備内容とその根拠</p> <p>(状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路幅員や構造規模等は、道路構造令等に基づく。 	<p>(7) 事業計画の熟度 < 妥当 ・ 妥当でない ></p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> (仮称) 甲府中央SICは、平成26年に国土交通大臣から連結許可を受けている。また、リニア中央新幹線整備は、JR東海が令和9年の開業に向けて事業を進めている。山梨県ではリニア駅前エリア整備検討会を設立し整備方針等が議論されるなど、事業計画の熟度は高い。 <p>《総合評価》 < 妥当 ・ 妥当でない ></p> <ul style="list-style-type: none"> 7項目全て妥当と評価されることから、実施が妥当と判断する。 																																													

3. 添付資料シート (1)

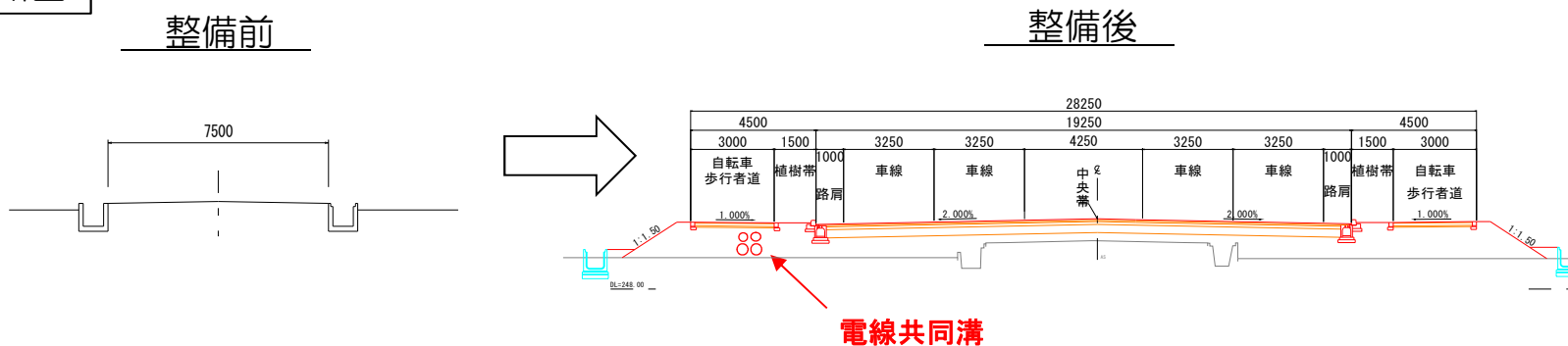


3. 添付資料シート (2)

平面図



標準横断図



3. 添付資料シート (2)

①新山梨環状道路交差点より



②現道渋滞状況



現在の土地利用状況

